

「2019 WINTER CUP 参加選手へのお知らせ」

WAVE 委員会 2019/1/25

今大会における基本ルールにかんしては現行のルールブックに基づいて試合を行っていきます。しかし、前回の大会をふまえ、より明確にする必要がある判断した事案について、WAVE 委員会の中で話し合い、下記のようにまとめました。ここに発表をします。※試合の直前の発表になり大変申し訳ございませんが、基本的なルール変更はございません。参加する選手が練習してきた内容に問題がないことはお断りしておきます。ご理解を宜しくお願い致します。

◆ヘッドジャッジの役割の変更。

変更点として、ジャッジの監督という立場ではなく、ジャッジの交代要員としての立場となる。

- ・ヒートの進行の決定などは今まで通り、ヘッドジャッジとディレクターの判断で行う。
- ・プロテストへの対応はヘッドジャッジが行う。
- ・ジャンプの採点において、TプッシュやTフォワードかどうかの判断等は、個々のジャッジの判断に任せることとする。

◆ファクターは、基本ジャンプ2本、ウェイブ2本とする。

- ・風が弱くジャンプが不可能な場合は、ヘッドジャッジとディレクターの判断で、ウェイブのみ2本とする。
- ・アマチュアの試合に関しては、レベルによって、危険を伴う場合もあるため、ピックアップ数等の変動は必要とし、ヘッドジャッジとディレクターの判断に任せる。

◆ヒート時間は基本8分とする。※もしくは10分の可能性もあり

- ・ヘッドジャッジとディレクターの判断で、変わることもある。

◆女子のジャンプ（フォワードループ）の採点について

- ・セイルが完全に水面についてしまった場合でも、すぐにセイルが上がれば、ジャッジの判断で、チャレンジ点をつける。（1点～3点）
- ・海面にセイルがつかなければ、走り出しが遅れたり、体が水面について、リカバリー点をつける。（4点～5点）
- ・完着した場合の得点は7点とする。
- ・ワンハンドジャンプも採点する。（1点～2点）

以上のようなことを議論し、よりシンプルになるように決定致しました。参加される選手がより公平に試合に望めるよう、今後も改善点などを話しあっています。